

【発表概要】

2024年 国際アルツハイマー・パーキンソン病学会 (AD/PD™ 2024 International Conference on Alzheimer's and Parkinson's Diseases)

## SPIN コホートにおける血漿中 Aβ42/40 比による CSF 検査で定義された Aβ

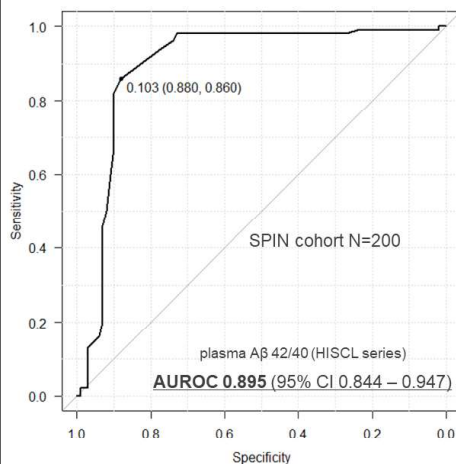
### 病理予測性能

発表者	<p>Yuko Sasaki<sup>a</sup>, Roman Boeer<sup>b</sup>, Yuko Saruta<sup>a</sup>, Javier Arranz<sup>c</sup>, Daniel Alcolea<sup>c</sup></p> <p><sup>a</sup> <i>Sysmex R&amp;D Center Europe GmbH, Hamburg, Germany</i></p> <p><sup>b</sup> <i>Sysmex Europe SE, Norderstedt, Germany</i></p> <p><sup>c</sup> <i>Department of Neurology, Sant Pau Memory Unit, Hospital de la Santa Creu i Sant Pau – IIB Sant Pau, Barcelona, Spain</i></p>
発表概要	<p><b>背景と目的</b></p> <p>血液検査による脳内アミロイド状態の予測はアルツハイマー病のスクリーニングに有用である。これまでに、自動免疫測定装置 HISCL™-5000/HISCL-800 で測定された血漿中 Aβ42/40 比が、アミロイド PET で定義された Aβ病理状態を予測する優れた性能が報告されている。本研究では、別のコホートにおいて、CSF 検査で定義される Aβ病理を予測するための血漿 Aβ42/40 比の性能を評価することを目的とした。</p> <p><b>方法</b></p> <p>本研究には、2013 年から 2022 年までサンタクルー・サンパウ病院で登録された SPIN (Sant Pau Initiative on Neurodegeneration) コホートから、認知機能障害なし (CU) 50 名、アルツハイマー病 (AD) による軽度認知障害 (MCI) 49 名、非 AD による MCI 50 名、AD 51 名を抽出し、合計 200 名を対象とした。Aβ病理は、ルミパルス (Fujirebio-Europe) によって測定された CSF Aβ42/40 比によって定義された。血漿中の Aβ42/40 比は HISCL-5000 で測定した。</p> <p><b>結果</b></p> <p>血漿 Aβ42/40 比は、AUROC : 0.895 (95%CI : 0.844 - 0.947) で、CSF Aβ42/40</p>

比によって決定される A $\beta$ 病態を予測することができた (図)。Youden Index によって算出された閾値は A $\beta$ 比 0.103 であり、以前に報告された閾値 0.102 と近い値であった。閾値 0.103 での感度、特異度、PPV、NPV は、それぞれ 86.0%、88.0%、87.8%、86.3%であり、0.102 では 82.0%、90.0%、89.1%、83.3%であった。ApoE4 対立遺伝子保有の有無を加えても、有意な成績向上はみられなかった。(AUROC 0.903 (de Long の検定  $p=0.519$ 、A $\beta$ 比のみと比較) )。MCI 患者 (AD によるものとそうでないもの) のみを分析した場合、AUROC は 0.902 (95%CI 0.828-0.975) であった。

### 結論

血漿 A $\beta$ 42/40 比は、別のコホートにおけるアミロイド PET と比較した以前の報告と同様に、CSF 検査で判定された A $\beta$ 病理の予測において高い精度を達成した。



セッション

POSTER: THEME A (P0436 / #2772)